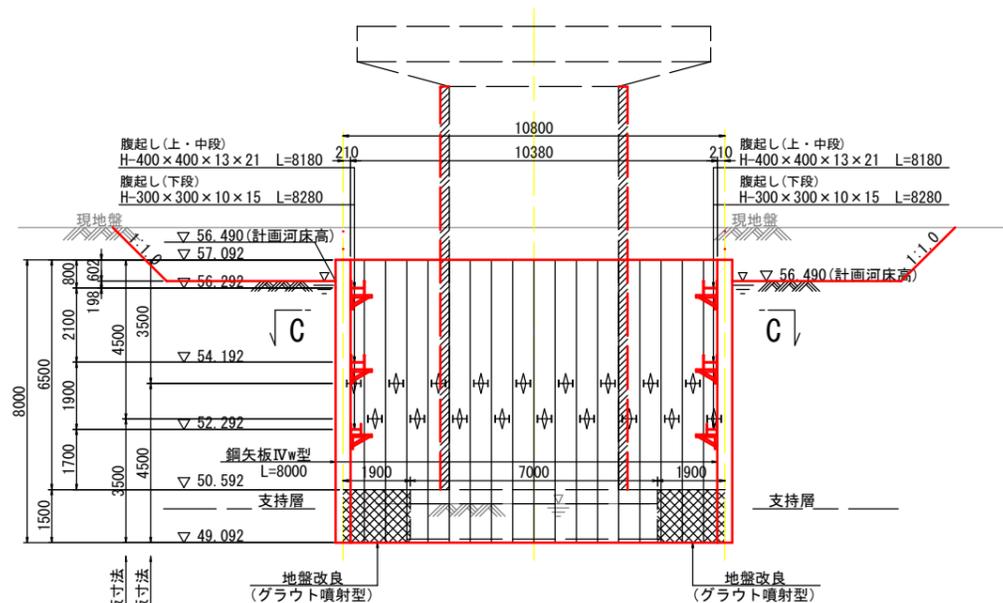
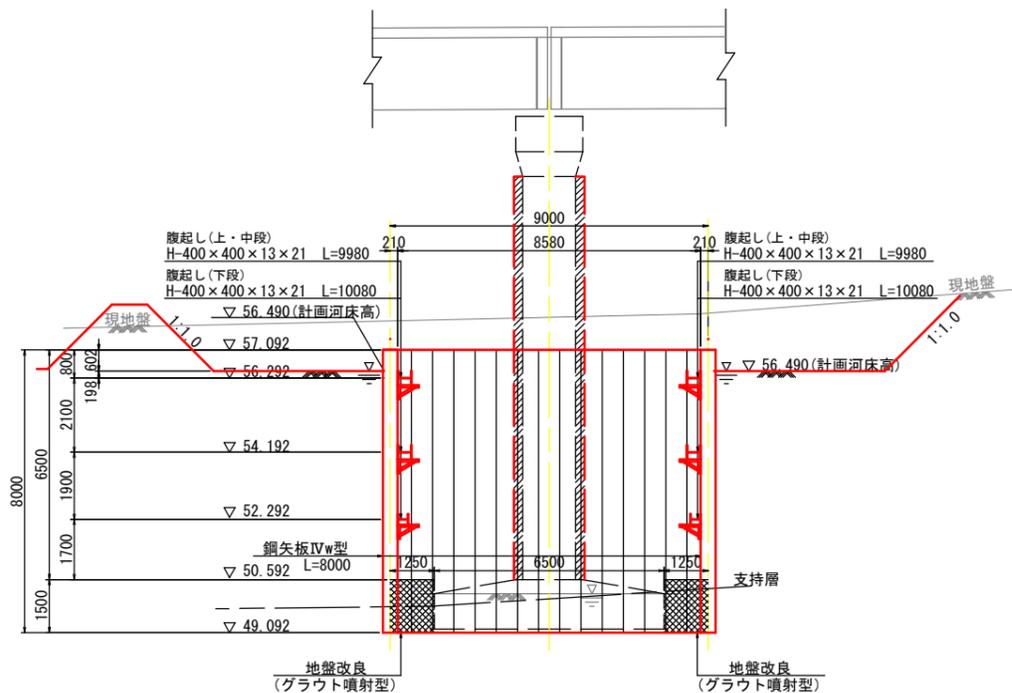


山下橋 P2橋脚仮締切工詳細図 S=1:100

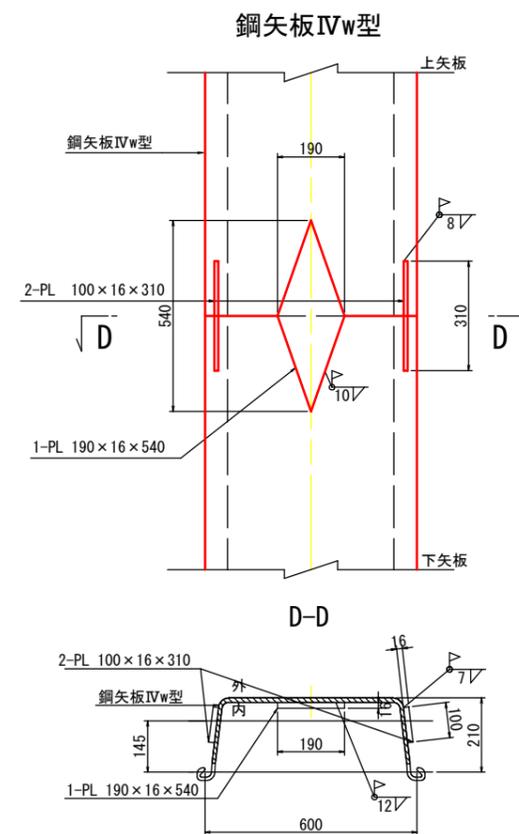
断面図
A - A



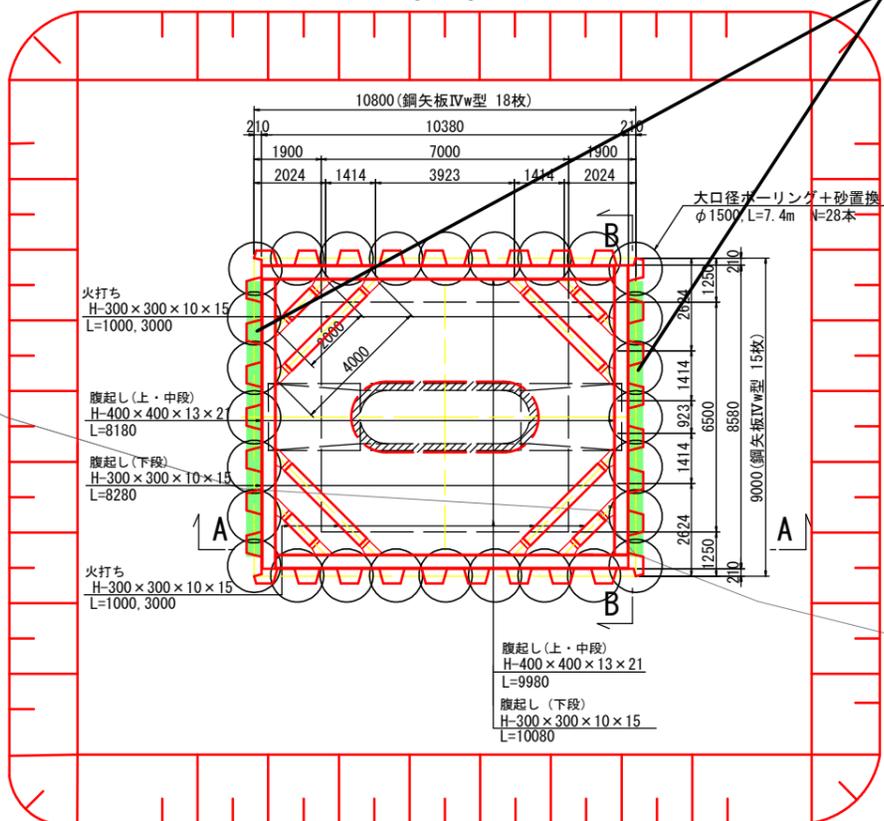
断面図
B - B



鋼矢板継手詳細図 S=1:10
(1カ所当り)



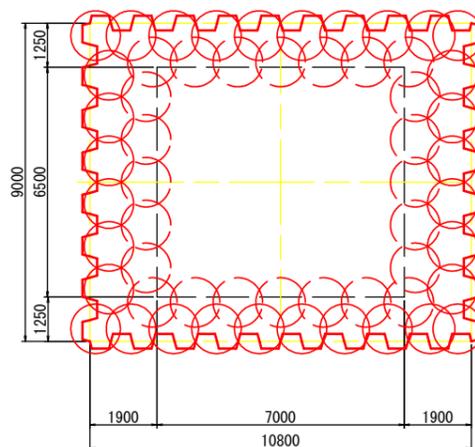
平面図
C - C



現場発成品 【鋼矢板IVw型 (H=8000)】

地盤改良配置図

- 二重管工法
- φ1400 先行掘削有 n=24本
 - φ1400 先行掘削無 n=32本
 - 1本当り 改良厚 t=1500 削孔長 L=7.4m



- 注記
1. 地盤改良は鋼矢板建込み後、行うこと。
 2. 改良体は、一軸圧縮強度 $q_u=250\text{ kN/m}^2$ ($q_u=2\sigma_c$ より推定)以上確保すること。
(改良体設計値 $\gamma=19\text{ kN/m}^3$ $\phi=0^\circ$ $c=125\text{ kN/m}^2$)

鋼矢板継手部材料表

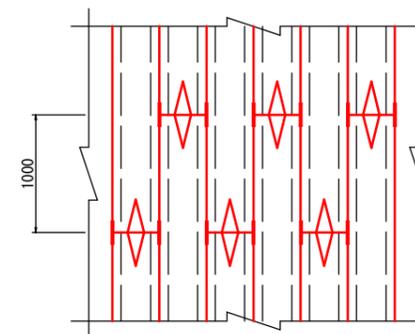
材質	型式	継手箇所数	鋼矢板長 L (m)	L1上矢板 (m)	L2下矢板 (m)
SY295	IVw型	18	8.00	4.50	3.50
		18	8.00	3.50	4.50

材料表(鋼材)

種別	名称	断面寸法 (mm)	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	質量 (kg)	材質	摘要
SP	鋼矢板	IVw型	4500	36	106.0	17172	SY295	
"	"	"	3500	36	106.0	13356	"	
"	"	"	8000	30	106.0	25440	"	
合計= 55968 kg								
H	腹起し	400×400×13×21	9980	4	200.0	7984	SS400	加工材
"	"	400×400×13×21	8180	4	200.0	6544	"	"
"	"	300×300×10×15	10080	2	100.0	2016	"	"
"	"	300×300×10×15	8280	2	100.0	1656	"	"
"	火打ち	300×300×10×15	1000	12	100.0	1200	"	"
"	"	300×300×10×15	3000	12	100.0	3600	"	"
小計= 23000 kg (主部材)								
・副部材(A) 主部材×0.22							5060 kg	
・副部材(B) 主部材×0.04							920 "	
小計= 5980 kg								
合計= 28980 kg								
鋼矢板 現場継手 = 36ヶ所								

※1 火打梁長は、火打受ピースを考慮(1m引く)した長さとする。

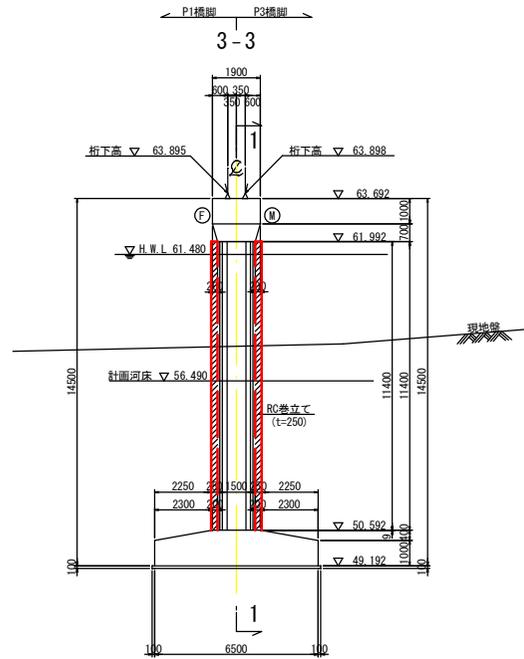
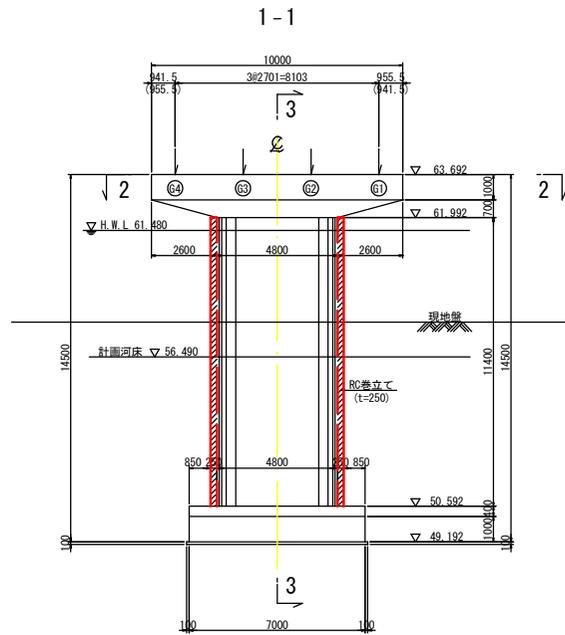
姿図 S=1:30



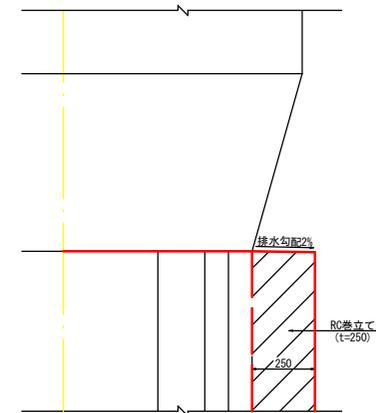
※継手位置は千鳥配置すること。

工事名	山下橋耐震補強工事		
施工箇所名	亀山市山下町地内		
図面の種類	P2橋脚仮締切工詳細図		
縮尺	1:100	図面番号	/
発注機関名	亀山市		

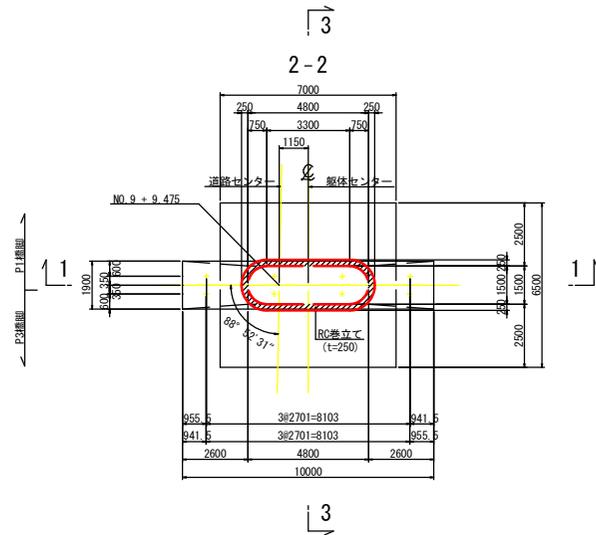
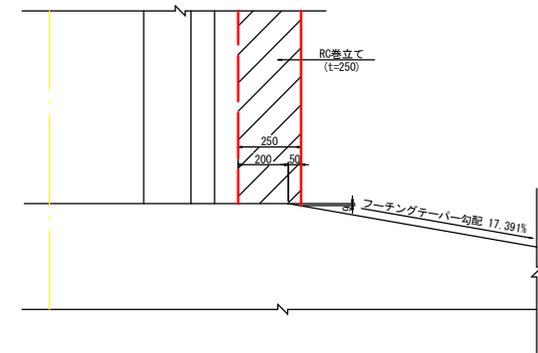
山下橋 P2橋脚補強構造図 S=1:100



巻立て天端詳細図 s=1:10



巻立て付け根部詳細図 s=1:10

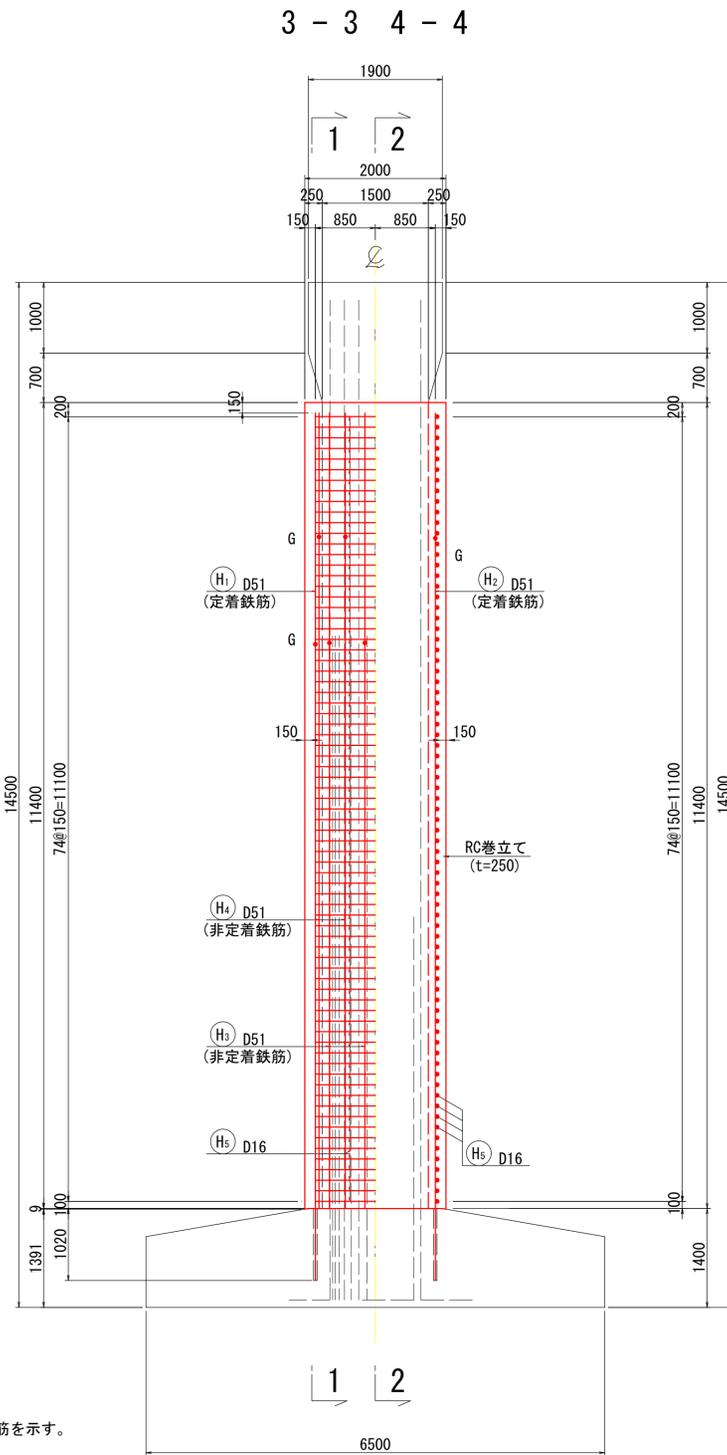
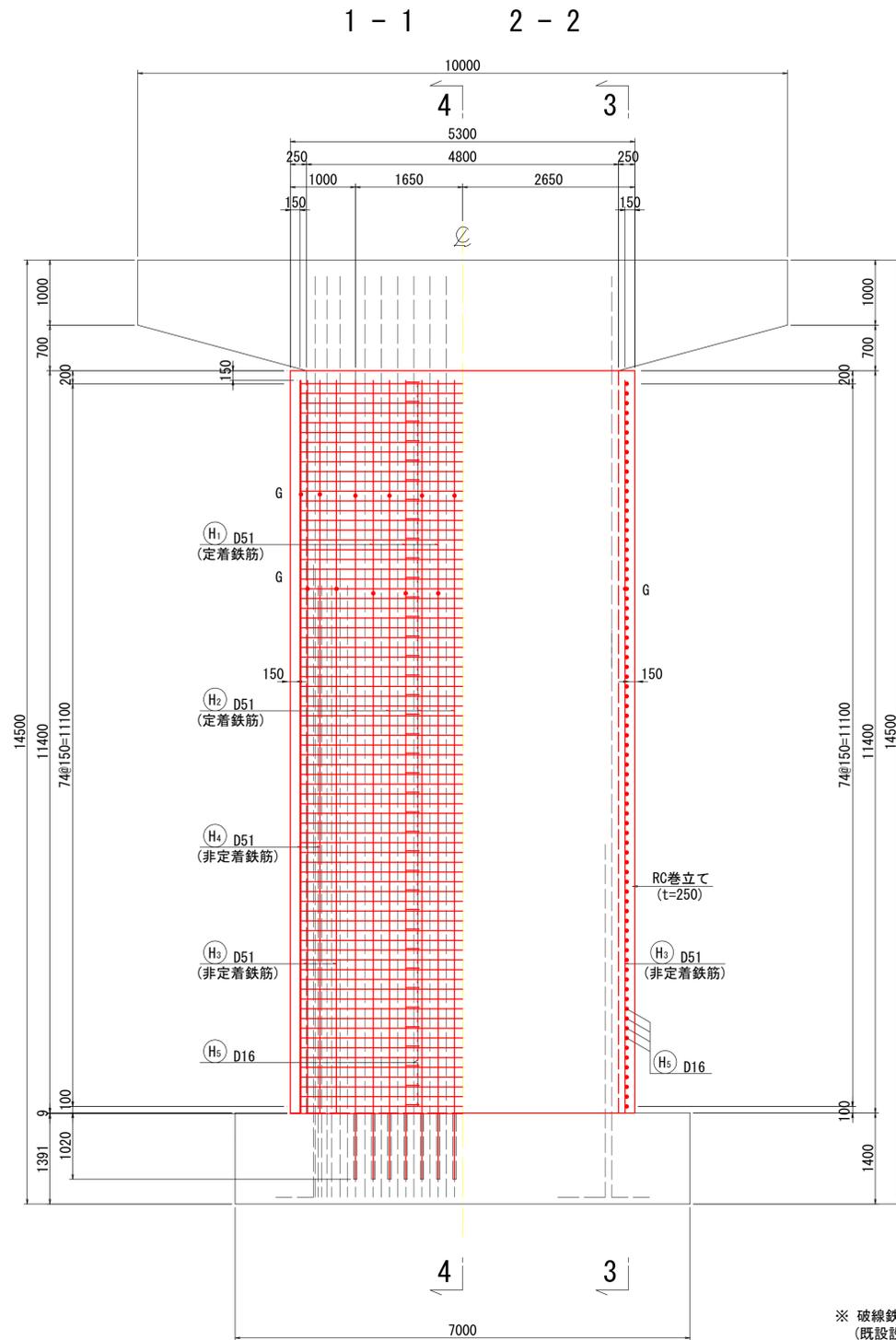


注 記

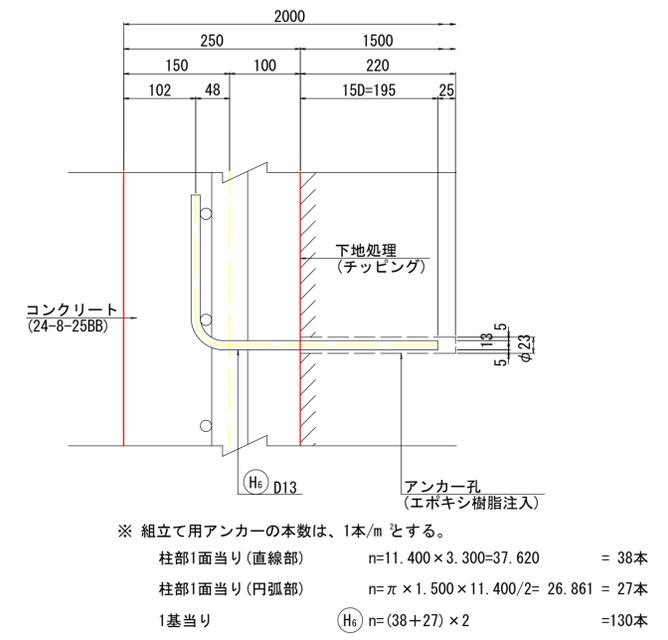
1. 施工及び材料加工に際しては現場寸法再確認の上、実施すること。
2. アンカー鉄筋の削孔は、RCレーダー等による鉄筋探査を行い事前に既設鉄筋位置を確認し、既設鉄筋を切断しないようアンカー鉄筋の削孔を行う。
3. 使用材料は、鉄筋：SD345、コンクリートσ_{ck}=24N/mm とする。

工事名	山下橋耐震補強工事
施工箇所名	亀山市山下町地内
図面の種類	P2橋脚補強構造図
縮尺	1:100.1:10 図面番号
発注機関名	亀山市

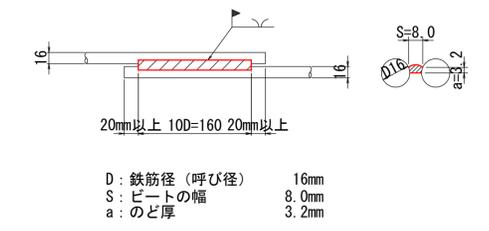
山下橋 P2橋脚補強配筋詳細図(1) S=1:50



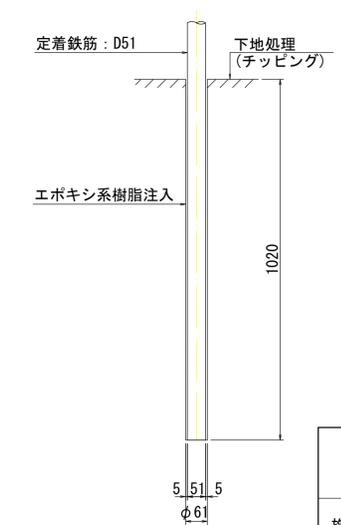
組立て用アンカー工詳細図 S=1:5



フレアー溶接詳細図 S=1:5, S=1:2



定着アンカー工詳細図 S=1:10



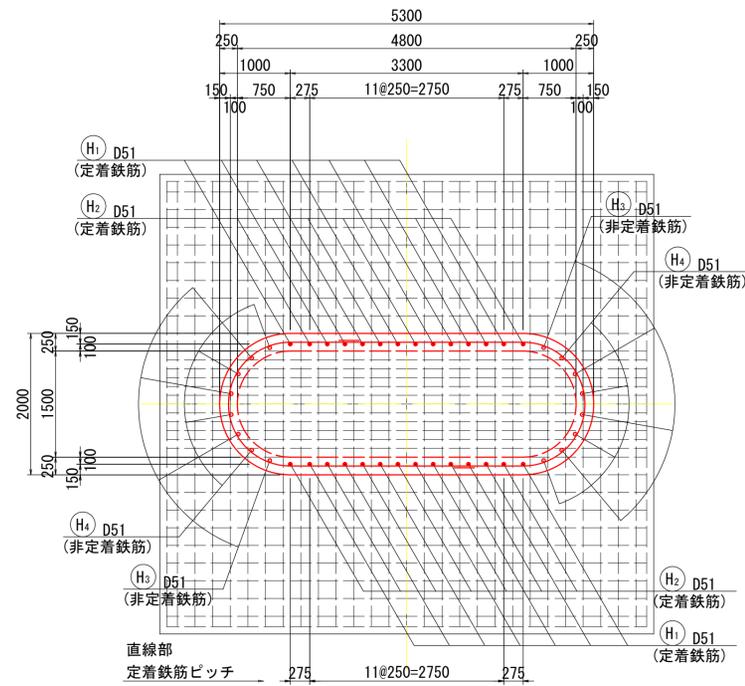
※ 破線鉄筋は、既設柱の鉄筋を示す。
(既設設計図より復元)

- 注記
1. 施工及び材料加工に際しては現場寸法再確認の上、実施すること。
 2. アンカー鉄筋の削孔は、RCレーダー等による鉄筋探索を行い事前に既設鉄筋位置を確認し、既設鉄筋を切断しないようアンカー鉄筋の削孔を行う。
 3. 使用材料は、鉄筋：SD345、コンクリート $\sigma_{ck}=24N/mm$ とする。

工事名	山下橋耐震補強工事	
施工箇所名	亀山市山下町地内	
図面の種類	P2橋脚補強配筋詳細図(1)	
縮尺	図示	図面番号
発注機関名	亀山市	

山下橋 P2橋脚補強配筋詳細図(2) S=1:50

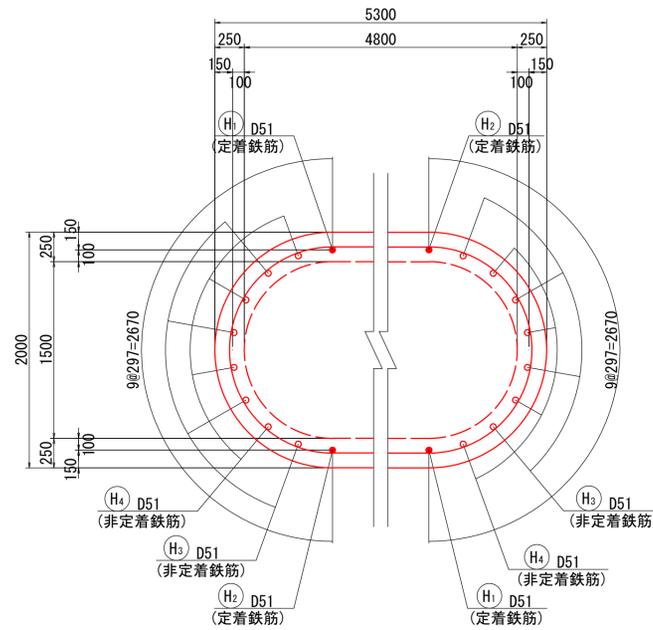
5 - 5



柱鉄筋用アンカー削孔
直線部 28カ所

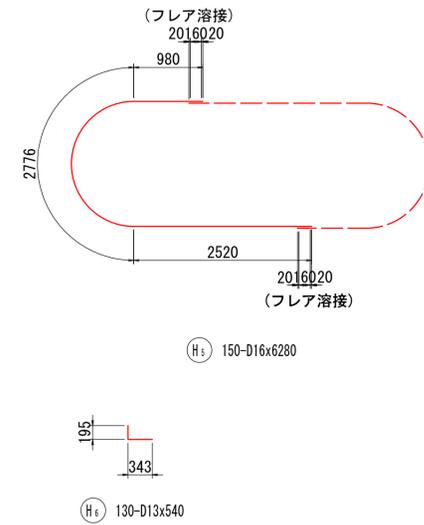
※ 破線鉄筋は、既設フーチング上面の鉄筋を示す。
(既設設計図より復元)

円弧部鉄筋配置 S=1:30



柱補強鉄筋表

種別	径	長さ	本数	単位質量	一本当り質量	質量	摘要
H1-1	D51	9000	14	15.9	143.10	2003	(14)
1-2	〃	3270	14	〃	51.99	728	
2-1	〃	10500	14	〃	166.95	2337	(14)
2-2	〃	1770	14	〃	28.14	394	
3-1	〃	8000	8	〃	127.20	1018	(8)
3-2	〃	3250	8	〃	51.68	413	
4-1	〃	9500	8	〃	151.05	1208	(8)
4-2	〃	1750	8	〃	27.83	223	
5	D16	6280	150	1.56	9.80	1470	
6	D13	540	130	0.995	0.54	70	
						9864	kg
SD345 (圧接箇所)							
D51		8324	kg	(44)			
D16		1470	kg				
D13		70	kg				
合計		9864	kg	(44)			



注記

- 施工及び材料加工に際しては現場寸法再確認の上、実施すること。
- アンカー鉄筋の削孔は、RCレーダー等による鉄筋探索を行い事前に既設鉄筋位置を確認し、既設鉄筋を切断しないようアンカー鉄筋の削孔を行う。
- 使用材料は、鉄筋：SD345、コンクリート $\sigma_{ck}=24N/mm$ とする。

工事名	山下橋耐震補強工事
施工箇所名	亀山市山下町地内
図面の種類	P2橋脚補強配筋詳細図(2)
縮尺	図示 図面番号
発注機関名	亀山市

